

# まちなかにおけるカラス対策 指向性スピーカーを用いたカラスとの共存

テーマの選定理由： 普段のごみ捨てでカラスがごみステーションのごみを荒らしていたから！

## 現状調査結果

### 【被害】

- ・ごみステーションでのごみの食い散らかし
- ・フンによる衛生問題
- ・騒音被害



## 既存策

- ・テグス
- ・カカシ
- ・ごみネット
- ・鷹匠



## 前提条件

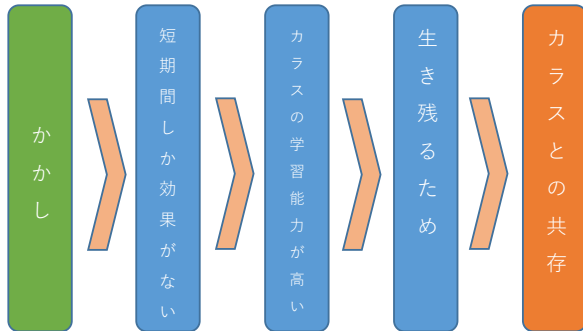
- ・カラスを殺さない
- ・予算100万円以内

## 目標値

苦情件数を年間20件から10件にする

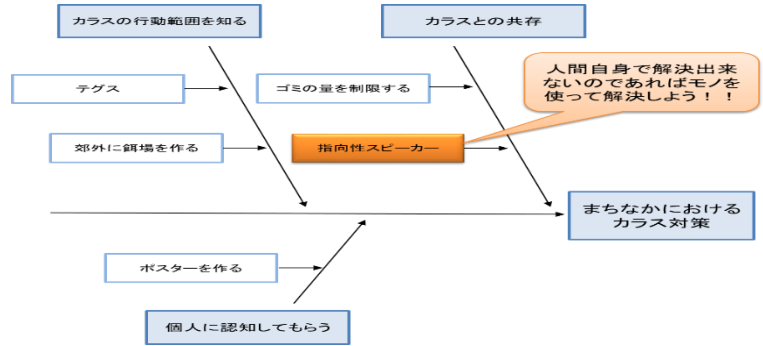
## 真の課題：カラスとの共存

### 「なぜなぜ分析」



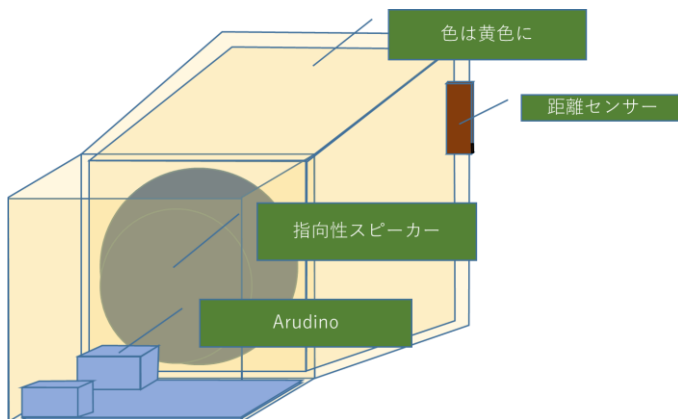
## 課題解決のためのアイデア

ブレインストーミングで出たアイデアを特性要因図でまとめた



## 創出したアイデア「指向性スピーカー」

ごみステーション5メートル付近の場所に設置し、特定の範囲に音を照射する。



### ◎長所

- ・特定の範囲で使用できるので、町中で使える。
- ・効率的に対策できる。

### ◎短所

- ・コストが高い。
- ・近隣で被害が出る可能性がある

2019年度 プロジェクトデザイン II

クラス・チーム：EP305-1

メンバー：佐藤 和希、黒田 晃平、町田 大貴

磯崎 響、長谷川 智星、加藤 優吾

担当教員：河並 崇先生